

VOL.15
平成28年9月
かごしま

みどりの基金だより



第13回「森林ボランティアの日」の活動に参集したボランティアの面々(平成27年9月13日 大崎町益丸[くにの松原海岸林])

特集 緑の少年団の活動事例



公益財団法人 かごしまみどりの基金



目次

I 緑化推進活動

- 1 緑化推進の意義 1
- 2 緑化推進活動の歴史 1
- 3 本県における緑化推進体制 1

II 緑の募金

- 1 緑の募金活動 2~4
- 2 緑の募金の使い途 4

III 緑の募金等を活用した取組の概要

- 1 普及・啓発（緑化推進イベント等）
 - ① みどりの感謝祭 5
 - ② 九州森林の日植樹祭 5
 - ③ 地区植樹祭 5
 - ④ かごしま木材まつり 6
- 2 緑の少年団の育成と活動支援
 - (緑の少年団の目的と組織) 6
 - (活動の状況) 8

特集 緑の少年団の活動事例 9~11

- 3 森林ボランティアの育成と活動促進
 - (森林ボランティアの育成) 11
 - ① かごしま森林の学校 11
 - ② 森林ボランティア技術研修 12
 - ③ 森林ボランティアの日の活動 12
 - ④ 森林ボランティア連絡会 13
- 4 緑の募金事業（公募方式の事業） 14~15
- 5 緑の募金学校の緑整備事業 15
- 6 「木育」活動の普及・啓発促進事業 16
- 7 名木・古木等緑の文化財保全事業 16~17
- 8 企業等との連携による森づくり 18

■ かごしまみどりの基金の組織体制

- (1) 理事会・評議員会・運営協議会 19~20
- (2) 事務局 20

I 緑化推進活動

1 緑化推進の意義

森林は、木材等を供給するだけでなく、水資源を蓄え、洪水や山地災害等を抑止し、あるいは二酸化炭素の吸収・固定を通じて地球の温暖化防止に貢献するほか、私たちの生活に潤いを与えるなど、人間が生きていく上で欠くことのできない多くの恵みをもたらしています。

このような森林やみどりを守り育てていくことは、私たちの安全で豊かな生活環境を形成する上で重要なことです。

2 緑化推進活動の歴史

我が国では、古くから生活、産業、文化等のあらゆる面において木材を多用して来ました。人口の増加や産業の発展に伴い過度の森林伐採が行われ、一部で造林は行われたものの、明治時代までには我が国の森林は広い範囲でかなり荒廃していたようです。加えて先の大戦後の復興などで大量の木材が必要とされ、森林はさらに伐採されました。

そうした状況の中、昭和25年に「国土緑化推進委員会」が設立され、「緑の羽根募金運動」や学校林運動を核とした国土緑化活動が始められています。

また、同年、国土復興への願いを込めて「荒れた国土に緑の晴れ着を」をスローガンに、天皇陛下をお迎えして、初めての全国植樹祭が開催されました。

昭和26、27年には各都道府県に「都道府県緑化推進委員会」が結成されて、緑化活動が全国的に展開されることになりました。

その後、平成7年に「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」（通称「緑の募金法」）が制定されたことにより、「緑の羽根募金」は「緑の募金」として法的な根拠を得ました。

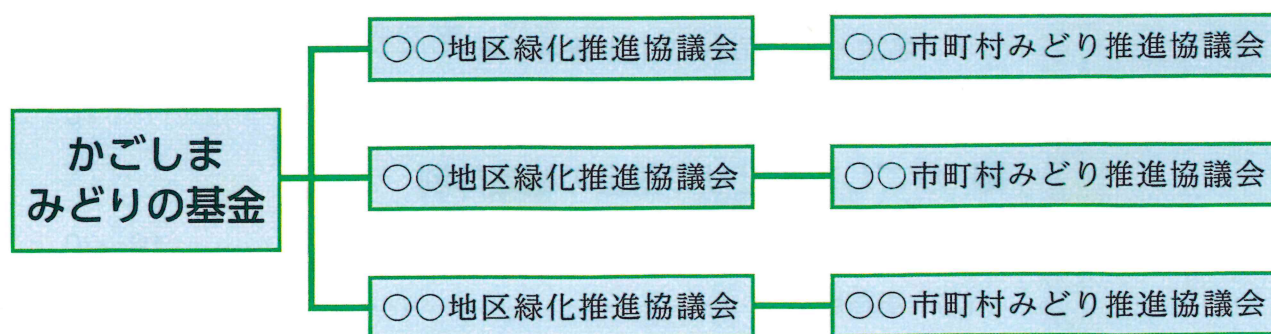
今日では多くの国民の賛同のもと、この緑の募金活動を核として幅広い緑化推進活動が進められています。

3 本県における緑化推進体制

鹿児島県においては、昭和26年に「鹿児島県緑化推進委員会」が設立され、これを中心に県土の緑化推進運動が展開されることとなりました。

平成5年9月13日には、緑化推進委員会に代わる組織として、県、市町村、企業・団体等の寄付により「財団法人かごしまみどりの基金」が設立され、平成23年7月1日に公益財団法人となり、緑化推進活動を展開しています。

また、県の各地域振興局・支庁を単位として「地区緑化推進協議会」が、県内全ての市町村に「市町村みどり推進協議会」が設置されており、かごしまみどりの基金と連携して緑の募金活動に取り組むとともに、独自の緑化推進活動を行っています。



Ⅱ 緑の募金

1 緑の募金活動

現在の緑の募金は、平成7年に制定された「緑の募金法」に基づいて実施されており、本県では公益財団法人かごしまみどりの基金のみがその実施団体として認定されています。

募金活動は、かごしまみどりの基金、地区緑化推進協議会、市町村みどり推進協議会が連携して進めており、町内会活動等を通じた家庭募金を中心として、企業募金、職場募金、学校募金、街頭募金など様々な方法で協力をいただいています。

【募金期間】

春期 2月1日～ 4月30日

秋期 9月1日～10月31日

【緑の募金スタート式】

2月1日、春季募金期間の開始に当たり、緑の募金に係わる関係者が出席して、「緑の募金スタート式」を開催しました。

当基金理事長（知事）から県民の皆様への募金に対する協力をお願い、募金活動に携わる人たちへの激励の言葉が述べられ、緑の少年団代表から募金活動に係る決意の表明がなされました。

式終了後、ボランティア団体等は街頭に繰り出して、緑の募金のキャンペーンを行いました。



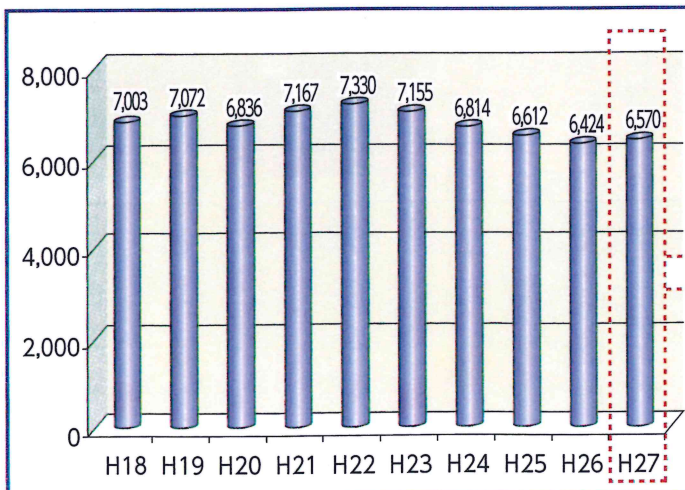
【募金の実績】

鹿児島県の平成27年度緑の募金実績 6,570万円（目標額：1億円）

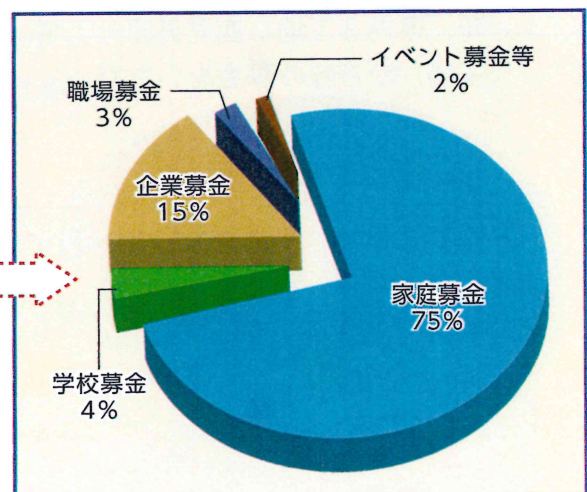
平成27年度の募金額は、約6,570万円でした。また、募金の態様別の内訳は右のグラフのとおりで、町内会活動などを通じた家庭募金が中心となっています。

募金額の推移

(単位：万円)



平成27年度の募金額の内訳



【募金活動の態様】

(1) 市町村みどり推進協議会を通じた募金

市町村みどり推進協議会を通じた募金は家庭募金、学校募金、職場募金などで家庭募金が大部分を占めています。

家庭募金については、自治会等の全面的な協力をいただいています。

(2) 企業・団体募金

最近では社会貢献活動（CSR）の一環として、「緑の募金」に協力してくださる企業や団体も増えてきています。また、企業・団体の職員の方々が職場募金として取り組んでくださる例もあります。

〔企業・団体募金の事例〕

○ アサヒビール株式会社鹿児島支社

アサヒビール株式会社鹿児島支社では、『「クリアアサヒで鹿児島の緑を守ろう」プロジェクト』を実施され、期間中に本県で消費されたクリアアサヒの対象商品の売上の一部を、当基金に寄付していただきました。

同社には、森林整備や子どもたちの森林学習活動、森林ボランティア育成などのため、平成21年度から毎年多額の緑の募金を寄付していただいています。



星野鹿児島支社長より
募金の贈呈

○ 鹿児島トヨペット株式会社

トヨペット株式会社では、緑豊かな街づくりをめざし、地域に根ざした社会貢献活動として、毎年、「トヨペットふれあいグリーンキャンペーン」を全国展開しています。

平成28年4月5日、県庁県民ホールでこのキャンペーンが開催され、この席で鹿児島トヨペット株式会社から、緑の募金を贈呈していただきました。



山下社長より募金の贈呈

○ 京セラ株式会社

京セラ株式会社には、社会貢献活動の一環として、毎年、県内3工場（鹿児島国分工場、同川内工場、同隼人工場）から緑の募金をいただいています。



過去3年間に、年間10万円以上の寄付をくださった企業・団体は次のとおりです。

アサヒビール株式会社鹿児島支社、鹿児島トヨペット株式会社、京セラ株式会社国分工場、京セラ株式会社川内工場、鹿児島信用金庫、鹿信ハッピー会、株式会社建築工房匠、生協コープかごしま、NTT西日本株式会社鹿児島支店、白玉醸造合名会社、鹿児島県森林土木協会日置支部、株式会社鹿児島銀行、有限会社大竹商店、えむふぁみりー会、鮎川建設株式会社、株式会社植村組、株式会社フェニックス、有限会社中村酒造場

(3) 店頭募金

コンビニエンスストアやファミリーレストランをはじめとする多くの商業施設で、店頭募金箱を置いていただき、来店者の協力を頂いています。



(株)南九州ファミリーマートや(株)フェニックス（吹上庵などを経営）では、グループの県内各店舗に募金箱を設置していただいています。

(4) 街頭募金、イベント募金

みどりの基金では、森林ボランティアや緑の少年団の協力を得ながら、鹿児島市の繁華街で街頭募金を行うほか、様々なイベントでも緑の募金の周知を図っています。

また、市町村みどり推進協議会でも同様の取組を行っています。

募金箱



(5) 緑の募金対応の飲料水自動販売機

ペットボトルや缶など飲料水の販売会社とかごしまみどりの基金との契約に基づいて、自動販売機での売上金の2%を緑の募金として寄付していただく取組を行っています。

現在、6つの販売会社と契約し、県の施設や企業など県下で20数カ所に設置しています。



(6) カレンダーバザー展

全国の多くの企業等から寄贈していただいたカレンダーを県民の皆様にご覧いただき、売上げの全額を緑の募金とするものです。

平成27年度は、年末に鹿児島市のイオン鹿児島鴨池店、鹿屋市のプラッセだいわ及び霧島市のイオン準人国分店で、多くの森林ボランティアの協力をいただきながら実施しました。



2 緑の募金の使い途

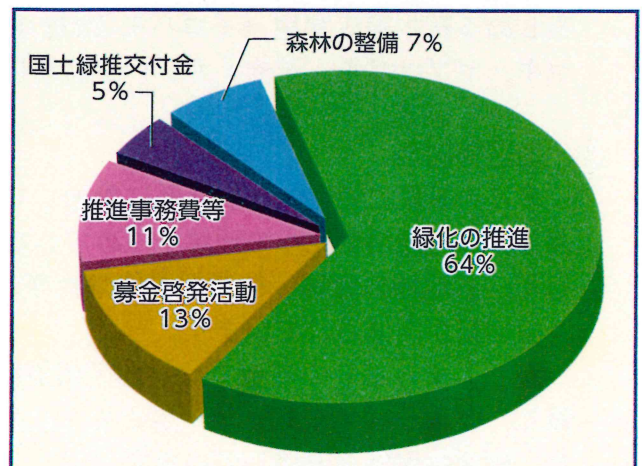
緑の募金については、緑の募金法で、森林の整備、環境緑化及びこれらについての国際協力、並びに緑の募金の啓発・普及に関する事務・事業に使用するように定められています。

本県の平成27年度の緑の募金の使い途は右のグラフのとおりで、緑化の推進に関するものが64%、森林の整備に関するものが7%などとなっています。

なお、各市町村みどり推進協議会によりとりまとめられた募金については、募金額の6割が各々の協議会に交付され、市町村独自の森林整備や緑化活動等に活用されています。

(右のグラフは、市町村分も含んでいます。)

緑の募金の使い途（実績）



Ⅲ 緑の募金等を活用した取組の概要

公益財団法人かごしまみどりの基金が、平成27年度に実施した事業の概要を紹介します。

1 普及・啓発

森林やみどりは、私たちに多くの恵みをもたらしてくれていますが、高度化した社会の中で、人々が森林とふれあう機会が少なくなってきました。

このようなことから、より多くの人々に森林に関心を持ってもらうとともに足を運んでもらうため、広報誌の発行やイベントの開催など様々な活動を行っています。

(緑化推進イベント等)

① みどりの感謝祭

県民に森林に親しんでいただくため、4月29日(旧みどりの日)、県との共催で、新緑の美しい県民の森において「みどりの感謝祭」を開催しました。式典のほか森の散策、クラフト教室など多彩な催しが行われ、緑の少年団を始め家族連れなど約2,000人が、県民の森での一日を楽しみました。



式典のようす



クラフト教室



森林散策

② 九州森林の日植樹祭

平成20年5月に、九州7県と九州森林管理局が毎年11月第2日曜日を「九州森林の日」と定めたことを受けて、本県では毎年この時期に森林づくり活動に取り組んでいます。

平成27年度は、11月21日、県民の森丹生附地区(霧島市)で、趣旨に賛同する森林ボランティア団体や企業の参加を得て、間伐した人工林内に季節を楽しめる花木等広葉樹(イロハモミジ、コブシ、ケヤキ、ヤブツバキ、イチイガシ)を植栽しました。



植樹活動

③ 地区植樹祭

多くの県民に植樹・育樹活動に参加していただき、森林整備、環境緑化への理解を深めていただくため、毎年、各地域の森林・林業振興協議会等の主催で地区植樹祭が開催されています。

かごしまみどりの基金では、地区植樹祭の開催に際し、理事長からのメッセージとともに助成金を贈り、地区植樹祭を支援しています。



始良・伊佐地域植樹祭

平成27年度の地区植樹祭の開催状況

地区名	実施年月	場 所	植栽樹種等
鹿 児 島	平成27年10月	十島村宝島内	オオシマザクラ, カンヒザクラ等
南 薩	平成27年12月	南さつま市加世田ドーム	マツクイムシ抵抗性マツ
始良・伊佐	平成27年12月	始良市住吉池公園	ヤマザクラ, イロハモミジ, クヌギ
大 隅	平成27年11月	錦江町花瀬でんしろう館	陽光桜, アジサイ
熊 毛	平成28年 1 月	西之表市あっぱーらんど	サクラ, ヤブツバキ
大 島	平成27年12月	喜界町百之台公園	ガジュマル, コクタン, シャリンバイ等

※ 北薩地区は、隔年開催のため平成27年度は開催されていない。

④ かごしま木材まつり

かごしま木材まつりは、10月8日の「木の日」に因んで、広く県民の方々に県産材に対する理解を深め利用拡大を図ることを目的として毎年実施されています。

かごしまみどりの基金では、県産材利用が森林所有者の森林経営意欲増進へ、さらには森林整備へと繋がることを期待して参加し、緑の募金の呼びかけをしています。

2 緑の少年団の育成と活動支援

(緑の少年団の目的と組織)

緑の少年団は、次代を担う子供たちが緑と親しみ、緑を愛し、緑を守り育てる活動を通じて、ふるさとを愛し、そして人を愛する心豊かな人間に育っていくことを目的とした自主的な団体です。

緑の少年団は、学校や地域を単位として小・中学生を中心に結成されており、森林づくりや緑化に関する学習や体験活動など様々な取組を行っています。

本県では昭和48年から逐次結成されており、最近では、平成26年度に佐多小緑の少年団（南大隅町）、南種子町緑の少年団（南種子町）、幸田小緑の少年団（湧水町）の3つの少年団が新たに結成されました。

現在、本県の緑の少年団は、55団、1,629人となっています。

また、各緑の少年団ごとに少年団を育成・指導する育成会が組織されており、育成会を含め、緑の少年団鹿児島県連盟が結成されています。

緑の少年団一覧

(平成28年8月現在)

※団名の朱書きは地域単位で結成された団

支部	番号	団名	小学生		中学生		合計	支部	番号	団名	小学生		中学生		合計	
			男	女	男	女					男	女	男	女		
鹿	1	桜洲	10	6			16	始 良 ・ 伊 佐	1	高岡	21	18			39	
	2	福平	3	1	5	2	11		2	霧島山	7	4			11	
	3	黒神中			4	2	6		3	竹子	10	16			26	
	4	清水中			20	18	38		4	安良	17	18			35	
	5	吉野東中			13	13	26		5	霧島小	2	5			7	
	6	河頭中			17	19	36		6	長谷	5	5			10	
	7	皇徳寺中			12	12	24		7	川添	14	11	3	1	29	
	8	福平中			29	4	33		8	蒲生くすのき	4	3	2	4	13	
	9	緑丘中			9	13	22		9	高熊山	16	10			26	
	10	武中			13	12	25		10	本城	17	19			36	
	児	11	東桜島中			13	6		19	11	幸田小	16	15			31
12		鹿大付属中			20	21	41	計	11団	129	124	5	5	263		
13		武岡中			9	11	20	曾 於	1	恒吉小	9	8			17	
14		伊敷台中			10	10	20		2	潤ヶ野	8	10			18	
15		長田中			30	28	58		3	財部北ふるさと	9	8			17	
16		西紫原中			14	15	29		4	持留小	10	11			21	
17		桜島中			27	22	49	計	4団	36	37			73		
島		18	鹿児島玉龍			180	180	360	肝 属	1	猿ヶ城	10	8			18
		19	坂元うちの	4	11			15		2	横尾岳	16	17			33
		20	川上	6	8			14		3	大原	6	6			12
		21	飯牟礼小	8	2			10		4	佐多小	11	6			17
	22	冠岳	4	7			11	計		4団	43	37			80	
	計	22団	35	35	425	388	883	熊 毛		1	南種子町	2	2	2	1	7
							計		1団	2	2	2	1	7		
南 薩	1	宮ヶ浜	11	12			23	大 島	1	高千穂	17	12			29	
	2	知覧小	10	19			29		2	大山	15	16			31	
	3	青戸	5	8			13		3	赤木名	16	21			37	
	4	霜出	8	9			17		計	3団	48	49			97	
北 薩	1	佐志	14	6			20	合計	55団	421	375	437	396	1,629		
	2	大馬越	9	4			13	地域単位	10団	98	105	10	4	217		
	3	蘭牟田	20	6			26	学校単位	45団	323	270	427	392	1,412		
	4	永野	15	8			23	【休団中の少年団】								
	5	里	14	9	5	2	30	北山(始良) 弊申(北薩)								
	6	蔵之元	22	10			32	桜峰愛郷(鹿児島) 宮(鹿児島)								
	計	6団	94	43	5	2	144	一倉(鹿児島) 遠見番山(鹿児島)								

(緑の少年団の活動状況)

各緑の少年団は、「みどりの感謝祭」や地区植樹祭などのイベントへの参加，地域ごとの交流集会，各団独自の森林体験・学習や緑化活動のほか，街頭募金などの活動にも積極的に取り組んでいます。

また，毎年開催される「緑の少年団活動発表大会」では日頃の活動内容を発表し合うとともに，団相互の交流を図っています。

昨年は，8月1日，霧島市溝辺公民館（みそめ館）で開催され，7つの少年団が日頃の活動について発表しました。



緑の少年団活動発表大会

左：発表の様子 右：表彰式



発表会後の交流会

特集

緑の少年団の活動事例

緑の少年団は、それぞれの学校や地域で、森林や緑に関する学習・体験活動のほか地域活動など様々な活動を行っています。ここにその活動の様子を紹介します。

(平成28年8月6日に開催された「鹿児島県緑の少年団発表大会」の発表内容をもとに基金事務局で編集したものです。)

川上緑の少年団 (いちき串木野市)

川上緑の少年団では、毎年、地域の人たちと茶摘み・茶畑の整備を、川上環境保全会の皆さんと協力して校区内の花壇の手入れなどを行っています。

また、敬老園ではぐりぶーダンスを披露し喜んでもらいました。緑の募金活動にも力を入れています。

夏のキャンプでは、設営から食事作りなどまでみんなで力を合わせて楽しく活動しました。川遊びではいろいろな生物を発見しました。この川はとってもきれいな川です。これからもずっときれいであって欲しいと願っています。



緑の募金活動



川上環境保全会の皆さんと



キャンプ



川遊び

青戸緑の少年団 (南九州市)

青戸緑の少年団は、「自然の中で遊ぶ・学ぶ」をモットーに活動しています。

4月のみどりの感謝祭では様々なイベントに参加し、自然の恵みを実感することが出来ました。

8月には、開聞岳登山キャンプを計画していましたが、学校も開聞山麓自然公園も、前日の台風で折れた木の枝や葉っぱでいっぱいでした。そこで登山を中止し大人の人たちと一緒に跡片付けを行いました。先生や公園の人たちに大変喜んでもらいました。

1月の間伐体験では、市役所の人から森の働きについて学んだ後、自分たちで木の伐採を行いました。

そのほか、シイタケの駒打ちや募金活動、地域の人たちと田植え・稲刈りなど様々な活動を行っています。



みどりの感謝祭

間伐体験



公園の後片付け

シイタケ駒打ち



蘭牟田緑の少年団 (薩摩川内市)

蘭牟田緑の少年団では、樹木教室として、3、4年生が木工体験（本立て作り）、5、6年生は植樹と樹木クイズ、樹名板作りを行いました。木工体験では木の性質を少し理解することが出来ました。樹木クイズでは校内にある木の種類とその特徴などを学びました。樹名板は一人一人工夫をこらして作ったので、みんなに親んでもらえるのではないかと思います。そのほか、緑の募金活動も行いました。

蘭牟田池には、絶滅危惧種のベッコウトンボが生息しています。緑の少年団では、ベッコウトンボの頭数調査に参加したほか、昨年は大分での「KODOMORAM サール」全国大会に参加し、他の県の友達と意見交換することが出来ました。

これからも蘭牟田の自然を守る活動を続けていきます。



本立てづくり



樹名板作り



ベッコウトンボの頭数調査



緑の募金活動

長谷緑の少年団 (湧水町)

長谷緑の少年団は、地域の1年生から6年生までの10人で活動しています。

みどりの感謝祭や緑の少年団の活動発表・交流会、地区植樹祭などの行事に積極的に参加して、いろいろな学習・体験をしています。

また、地域活動として、空き瓶・空き缶回収やふるさと美化活動に参加したほか、畜産祭、敬老会、豊祭相撲大会、地区運動会などの地区の行事に参加しました。また、消防年末夜警にも体験参加しました。

長寿会との交流では、クリスマス会やそば打ち、ミニ門松づくりをしたり、お年寄りに年賀状を書いたりして喜ばれています。



みどりの感謝祭



少年団交流会



空き瓶・缶回収



長寿会との交流

恒吉小緑の少年団 (曾於市)

恒吉小緑の少年団は、学校林を活用した森づくりを始め、様々な活動を行っています。昨年9月には、学校林で除伐・枝打ち体験学習を行いました。長い枝打ち鋸での作業は大変でしたが、山はとてもきれいになりました。

11月にはネイチャーゲーム・工作教室を行いました。木材を使ったベンチ作り、どんぐりなど森からの材料を使ったクラフトでは、森の恵みを実感することが出来ました。年末には地域の人たちと学校の門松づくりを、2月にはシイタケ駒打ちを行いました。2年後にシイタケがなるのが楽しみです。

11月の弥五郎どん祭りでは、パレードに参加し、緑の募金活動を行いました。

これからも緑豊かな恒吉校区を守る活動を続けていきます。



枝打ち体験



木製ベンチ作り



シイタケ駒打ち



弥五郎どん祭り

大原緑の少年団（錦江町）

今年4月の花瀬公園祭りでは、緑の募金活動を行い、多くの人の協力をいただきました。この募金が緑の環境を守ることに役立てばうれしいです。

5月には照葉樹の森で木工クラフト体験教室をしました。イノシシやウサギの切り抜きを仕切りにした、すてきな本立てができあがりました。

そのほか、肝属地区緑の少年団交流会や大隅植樹祭にも積極的に参加しています。

地域活動として、9月にはコスモスの種まきをします。10月にはきれいな花を咲かせてくれます。2月には地区のモミジ（約1000本）の管理作業の手伝いで肥料散布を行いました。3月には大原地区空き缶拾いに参加しました。

自然とのふれあいや地域との交流などを通して、心が豊かになる貴重な体験をすることができたと思います。



緑の募金活動



木工体験



モミジの肥料散布



きれいに咲いた
コスモス

3 森林ボランティアの育成と活動促進

森林やみどりの保全・育成等に高い意識を持つ県民が、自発的に森林ボランティア団体を結成し、植樹や育樹活動に取り組んでいます。

各森林ボランティア団体は、地域の特性や構成員の持っている知識・技能を生かしながら、植栽、間伐等の森林整備をはじめ、県民・子どもたちを対象とした森林学習、木工・クラフト体験、自然観察会の開催など多彩な活動を展開しています。

かごしまみどりの基金では、森林ボランティアの育成を図るとともに、団体の活動を積極的に支援しています。

(森林ボランティアの育成)

① かがしま森林の学校

かごしまみどりの基金では、森林ボランティアリーダーを養成するため、平成20年度から「かがしま森林の学校」を開催しています。

「森林の学校」では、大学の先生、木材や建築の専門家などを講師に迎え、森林・林業や木材に関する知識、森林体験活動の進め方などについて座学や実習を交えて学習します。受講生は、修了後はボランティアグループを結成するなどして、実践活動に取り組んでいます。

平成27年度は年間11日間の講義を実施し、9人が履修しました。

「かがしま森林の学校」の修了者数

年度	平成20年 (第1回)	平成21年 (第2回)	平成22年 (第3回)	平成23年 (第4回)	平成24年 (第5回)	平成25年 (第6回)	平成26年 (第7回)	平成27年 (第8回)	累計
人数	29	25	32	22	32	7	10	9	166



座学



植生調査実習



閉講式

「かごしま森林の学校を受講して」

外 菌 さゆり

きっかけは「森林インストラクター」の募集を目にし、何気に自然に携わる事で自分にも何か出来る事があれば…所有している杉山や竹林もあるし…と、特に目的があった訳でもなく軽い気持ちで応募しました。

入校初日、少し緊張の中どんな人たちが集まったのだろうと思いつつスタート。森林ボランティアのあり方、意義、歴史や森林の働きを学んでいく中で、漠然としていた目的が自分の置かれた状況を整理して考えられるようになり見えてきた物があったと感じます。2回目の講義でアイスブレイキングを機にメンバーとの距離もぐっと縮まり、親近感がわき打ち解けてこの日からお互いを愛称で呼びあう事も。意見、交流も深まるなか、森林の中での植物の分類や生態の調査、実際に観て触れる事で新しい発見もあり、学び、知る楽しさを再認識しました。特に印象に残っているのは、高隈演習林での「水が生まれる所」では岩肌をぬって染み出て落ちてくる大量の湧水のさまは一同感動！「緑は縁の下の力持ち」と資料の一部に記載されていましたが、まさしくその通り。この他にも、木材の基礎知識や加工・利用、木工体験では木工ろくろに初挑戦。

様々な体験を通し、今後の在り方にも沢山のヒントもいただき、出来る事を仲間と一緒に考え一人でも多くの人に何かしらの気付きで興味を持ってもらえるよう、ボランティア活動にも生かしていきたいと思えます。

② 森林ボランティア技術研修

森林ボランティア活動においては、刈払機、チェーンソーは欠かせないものですが、危険性の高い道具です。そのため、みどりの基金では、刈払機、チェーンソーの安全かつ的確な操作技術を習得するための「森林ボランティア技術研修（初級，中級）」を開催しています。

平成27年度は初級研修を4回（受講者数91人）、中級研修を1回（受講者数12人）実施しました。



座学（法令等）



刈払機実技



チェーンソー実技

③ 森林ボランティアの日の活動

9月第3日曜日は「森林ボランティアの日」となっています。森林を守り育てることの大切さを認識し、一人一人がそれぞれの立場で森林づくりに参加する気持ちを醸成するとともに、森林ボランティア活動の社会的評価を高めることを目的に定められたものです。

本県では、例年この日に、県下各地で活動している森林ボランティアが集結し、森林整備等の活動を実施しています。

昨年度は9月13日、曾於郡大崎町益丸の松林（通称「くにの松原」）で、海岸防災林造成のためのマツの植栽や、隣接するマツ林内の除伐等を行いました。森林ボランティアのほか、地域の方々の参加もあり約270名が活動に汗を流しました。



抵抗性マツの植栽

④ 森林ボランティア連絡会

森林ボランティア団体の相互の連携を図りながら、森林や緑に関する啓発活動や森林整備活動などの効果的推進を図ることを目的に、「鹿児島県森林ボランティア連絡会」が結成されています。この連絡会には現在28団体が加盟しています。

森林ボランティア連絡会加盟団体

No	団体名	代表 (事務局)	No	団体名	代表 (事務局)
1	鹿児島県森林インストラクター連絡協議会	野方俊郎 (鹿児島市)	15	ふるさと再生プロジェクト会	東道也 (鹿児島市)
2	みどりの二季会	四本 紘 (鹿児島市)	16	特定非営利活動法人 縄文の森をつくろう会	幸野昌廣 (指宿市)
3	かごしまふるさとインストラクターの会 山輝会(さんきかい)	清家優子 (鹿児島市)	17	NPO法人 エコ・リンク・アソシエーション	下津公一郎 (南さつま市)
4	さつまグリーンヘルパーの会	野口謙作 (鹿児島市)	18	グリーンアートさつま	岩重澄夫 (日置市)
5	グローバル・フォレスター	福永敦子 (鹿児島市)	19	特定非営利活動法人 WBCかごしま	高山信義 (日置市)
6	森林の学校一歩会	上原節雄 (鹿児島市)	20	もり 森林の学校・八森林会	是枝哲郎 (日置市)
7	フォレスト22	宮内英世 (鹿児島市)	21	はっぴクラブ	坂元光則 (薩摩川内市)
8	かごしまどんぐり三期会	有田 肇 (鹿児島市)	22	田舎の環境を守る会	末吉弘典 (薩摩川内市)
9	もりびと 森林人	園田伸一 (鹿児島市)	23	特定非営利活動法人 四季の会	塩川英彬 (始良市)
10	もり 森林の学校七つ星会	蔀 繁光 (鹿児島市)	24	鹿児島県グリーンマスターの会	大浦地 政廣 (始良市)
11	特定非営利活動法人 森と木の研究所	大坪弘幸 (鹿児島市)	25	蒲生郷「おかべ会」	川添正剛 (始良市)
12	もりはやし倶楽部	木之下 勇一 (鹿児島市)	26	もりんちゅ 森人リン5の会	山元喜平 (始良市)
13	特定非営利活動法人 みどりの風かんかん	神野 環 (鹿児島市)	27	特定非営利活動法人 森のヘルパー森林整備隊	前田 誠 (曾於市)
14	平田の里山	池田和吉 (鹿児島市)	28	林生会	脇田 博 (曾於市)

4 緑の募金事業（公募方式の事業）

この事業は、森林整備や緑化推進に意欲のある森林ボランティアや自治会等の団体を対象として、その地域活動を助長するために助成するものです。

平成27年度は次の団体の活動に助成を行いました。

実施主体	事業内容	事業箇所
桜島どんぐりころころ 植樹祭実行委員会	緑の少年団による植樹祭の開催 〃 既植栽地の下刈	鹿児島市
特定非営利活動法人 四季の会	住吉池湖畔林の整備と公募参加者による植樹，たけのこ・山菜収穫体験	始良市，霧島市
さつまグリーンヘルパーの会	「寺山の炭窯跡」に隣接する荒廃竹林の整備	鹿児島市
森林の学校一歩会	荒廃竹林の整備と公募による参加者を対象としたタケノコ収穫，シイタケ駒打ち体験	始良市
かごしまどんぐり三期会	放置された里山林の除伐，空いた空間への広葉樹の植栽，歩道の整備	鹿児島市
もりんちゅ 森人リン5の会	シイタケ栽培に関する学習と駒打ち・椎茸収穫体験，木工教室	始良市
みどりの二季会	活動フィールドの整備とシイタケ駒打ち体験，子どもの樹木学習	霧島市，大崎町
特定非営利活動法人 みどりの風かんかん	公募による参加者を対象にした木や竹を使ったクラフト教室	鹿児島市
鹿児島県森林インストラクター連絡協議会	各地での森林育成作業・植樹作業の指導，幹線道路沿線の環境整備	鹿児島市ほか
出水地域木材利用推進協議会	「くらしと木材まつり」を通じた森林・林業の普及啓発	出水市
阿久根市浦地区自治会	公民館施設の緑化（サクラの植樹）	阿久根市
フォレスト22	公募による参加者を対象とした名木・古木見学ツアー	鹿屋市ほか
大隅流域森林・林業活性化センター	「おおすみ木材まつり」を通じた森林・林業の普及啓発	鹿屋市
森のまつり実行委員会	木工教室やパネル展示，イベント等を通じた森林・林業の普及啓発	霧島市
特定非営利活動法人 縄文の森をつくろう会	「てんちの杜」で，緑の少年団の地区交流活動（木の葉アート，木登り体験等）を開催	指宿市
鹿児島県水域美化推進協議会	木工クラフト体験，植樹活動を通じた森林・林業の普及啓発（バスツアー）	いちき串木野市
特定非営利活動法人 WBCかごしま	荒廃竹林をたけのこ生産林に誘導するための環境整備活動	薩摩川内市
蒲生郷「おかべ会」	活動拠点としている里山林の整備と環境学習の実施，韓国との交流桜並木の整備	始良市

さつまグリーンヘルパーの会

「寺山の炭窯跡」は、平成27年「明治日本の産業革命遺産」として旧集成館などとともに世界文化遺産に登録されました。

さつまグリーンヘルパーの会では、この「寺山の炭窯跡」近くの竹林が荒廃しているのを見かねて、整備を行うことにしました。膨大な量の枯れた竹や不要な竹を除去し、表土が流出しないよう土留めを設置し、今後のタケノコ掘り体験等も考慮して施肥まで行いました。きれいになった竹林は、今後訪れる人の目を楽しませてくれるものと思われま

作業前の荒廃した状況



きれいになった竹林



作業に携わった会員



枯れ竹、不要竹の整理



施肥



作業用道路の開設

5 緑の募金学校の緑整備事業

この事業は、学校林の整備や学校環境緑化を推進することによって、児童・生徒等の森林やみどりへの理解を深めるとともに、豊かな情操を育むことを目的としています。

平成27年度は次の3校で実施されました。

実施主体	事業内容
南九州市立霜出小学校	学校林における活動フィールド造成及び倉庫、トイレの設置
南九州市立青戸小学校	木製プランター等を活用した花壇の整備、植樹、木製ベンチの設置
南種子町立中平小学校	校内樹木園における樹木の植栽及び管理機材の整備

6 「木育」活動の普及・啓発促進事業

この事業は、児童・生徒に木の良さやその利用の意義を理解してもらうための教育活動（「木育」）の一環として、トンカチ号を活用した木工教室の開催に対して、材料費の一部を助成するものです。



実施団体	参加者数		
	児童生徒	保護者	計
枕崎市教育委員会ほか8団体	296人	34人	330人

7 名木・古木等緑の文化財保全事業

この事業は、県内各地に存在する名木・古木等を保全することにより、県民の森林・緑化への理解を深めるため、平成21年度から実施しています。この事業による保全対象は、名木・古木はもとより、特に文化財などに指定されていなくても地域の人々に親しまれている樹木も含まれます。各市町村みどり推進協議会から申請があったものについて、樹木医の診断を受け、その結果に基づき保全措置を実施します。

平成27年度は、8箇所の申請があり、それぞれ診断をした上で、次の6箇所の保全措置を実施しました。

保全措置の必要がないと判断された2箇所については、診断書及び処方箋を送付し、それぞれで対応してもらうこととしました。

保全措置を実施した箇所

No	所在地	樹種等	保全措置の概要
1	武岡台小学校 (鹿児島市)	タブノキ 推定樹齢 100年	<ul style="list-style-type: none"> ・露出した根の洗浄・消毒 ・根の伸長を図るため土留め枠を設置しそのエリア内を土壌改良 ・枝の腐朽部の切除、防腐処理
2	鶴丸小学校 (日置市)	イチョウ 推定樹齢 200年以上	<ul style="list-style-type: none"> ・台風で裂けたふたまたの幹の裂けが大きくなるようカスガイ、スリングベルトで幹、枝を固定 ・割裂部を防腐処理した上でアクリルを充填し、コーキング剤で防水処理
3	枕崎小学校 (枕崎市)	クロガネモチ 推定樹齢 150年	<ul style="list-style-type: none"> ・枯れ枝を切除し切り口の防腐処理 ・幹や腐朽部に着生していた植物を除去、幹の途中にある腐朽部には水の侵入防止工を施工 ・幹周辺と根の伸長箇所の土壌改良 ・ツノロウムシ、すす病防除のための薬剤散布。
4	柏原小学校 (さつま町)	センダン 推定樹齢 100年	<ul style="list-style-type: none"> ・枯れ枝、不適切な剪定痕を切除、切り口を防腐処 ・根元や幹の空洞部、腐朽部のスポンジ状の部分除去し防腐処理剤を塗布 ・根部の活性化を図るため土壌改良を実施
5	城元水之迫 (錦江町)	スダジイ (イタジイ) 推定樹齢 600年	<ul style="list-style-type: none"> ・枯死した太枝を切除し切り口を防腐処理 ・幹株から発生した「ひこばえ」を除去 ・幹の腐朽部についてはスポンジ状の部分除去し表面に防腐剤を散布 ・幹周辺の土壌改良とシロアリ駆除
6	上西小学校 (西之表市)	センダン 推定樹齢 100年	<ul style="list-style-type: none"> ・枯死した太枝を切除し切り口を防腐処理 ・着生植物を除去し、幹の腐朽部についてはスポンジ状の部分除去し、表面に防腐剤を散布 ・予防のため、シロアリ駆除剤を散布 ・スギ防腐丸太で支柱を施工

武岡台小学校のタブノキ

武岡台小学校のタブノキは、梢端の枝が枯れたり葉の色が悪くなるなど、樹勢の衰えが目につくようになりました。幹の周囲は長年踏み締められて、固くなり、表土はなくなっていました。また、根は地表に露出し一部腐れが生じるなどひどく傷められていました（写真①）。

今回の保全措置では、露出した根を覆土するための木製枠を設置するとともに根の防腐処理をし（写真②）、根が伸長する区域の固く痩せた土を取り除き（写真③）、黒土とバーク堆肥、完熟堆肥を混和し（写真③ 緑、白色の袋が堆肥、これをバックホーで黒土と混和）、これで木製枠内と周辺の掘削した部分を埋め戻しました（写真④）。根の伸長部分には発根促進剤や固形肥料を施してあります。そのほか、大きな枯れ枝を除去し、その切断面を防腐処理しました（写真⑤）。



8 企業等との連携による森づくり

環境問題に対する企業等の意識の高まりに伴い、近年、企業等からの緑の募金も増加傾向にあります。

このような中、より直接的に森林づくり等に取り組みたいという企業・団体の意向を受け、かごしまみどりの基金がコーディネーターとなって、森林ボランティア団体とも協力しながら、森づくり活動を進めています。

アサヒビール(株)鹿児島支社との連携

志布志市新若浜地内の「志布志海辺の森」は、平成23年11月、アサヒビール(株)鹿児島支社の緑の募金をもとに、将来防風林となるように、抵抗性マツ（スーパーグリーンさつま）、ウバメガシ、ヒメユズリハなどを植栽した場所です。

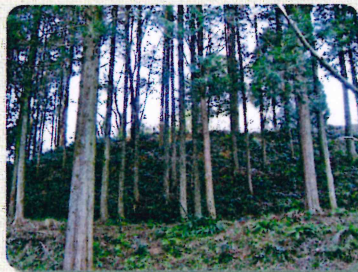
平成27年11月29日、同社社員と森林ボランティア、地元市役所職員等の参加により、下刈りを行いました。当日はあいにくの雨模様でしたが、元気いっぱい、下刈り作業を行いました。



鹿児島信用金庫との連携

鹿児島信用金庫と当基金では、平成23年から、同金庫の「緑の杜プロジェクト」に基づく緑の募金により、県民の森（丹生附地区）の森づくりに取り組んでいます。

平成27年度は、スギ・ヒノキ林の間伐を行うとともに、平成28年4月29日、みどりの感謝祭に合わせて同金庫職員による下刈り作業等を行いました。



間伐前



間伐後



職員による下刈活動



下刈活動参加者

かごしまみどりの基金の組織体制

理事長が交代しました!

このたび、^{み た ぞ の さ と し}三反園 訓 鹿児島県知事に、当基金の理事長に就任していただきました。

引き続き当基金へのご協力をよろしくお願いいたします。



(1) 理事会, 評議員会, 運営協議会

【理事会名簿】

平成28年9月1日現在

役 職	氏 名	所 属
理 事 長	三 反 園 訓	鹿児島県知事
常 務 理 事	竹 ノ 内 洋 行	かごしまみどりの基金
理 事	東 條 広 光	県環境林務部長
理 事	山 下 正 昭	鹿児島市産業局長
理 事	東 條 政 春	大崎町副町長
理 事	中 西 誠	鹿児島森林管理署長
理 事	久 保 裕 之	株式会社南九州ファミリーマート代表取締役社長
理 事	田 中 光 一	県森林組合連合会副会長
理 事	片 平 金 也	県農業協同組合中央会専務理事
理 事	鮫 島 準 一	鹿児島市立草牟田小学校長 (県連合校長会)
理 事	岩 下 ツ キ ミ	NPO法人鹿児島県地域女性団体連絡協議会長
監 事	中 山 清 美	県会計管理者 (兼) 出納局長
監 事	井 上 恒 治	県造園建設業協会会長

【評議員会名簿】

平成28年9月1日現在

氏 名	所 属
大 重 健 次	県環境林務部次長
月 野 功	県教育庁次長
山 野 隆	県森林組合連合会代表理事専務
永 岩 清 文	県治山林道協会専務理事
堂 込 清 文	県林材協会連合会・県木材協同組合連合会専務理事
西 一 樹	県漁業協同組合連合会専務理事
安 藤 司	県建設業協会専務理事
寺 床 勝 也	鹿児島大学教育学部教授
玉 川 恵	(株)丸屋本社取締役
山 野 真 理	(有)カルチャーコネクション代表取締役
岸 尾 隆	鹿児島県市長会事務局長
坂 上 省 悟	鹿児島県町村会事務局長

【 運営協議会名簿 】

平成28年9月1日現在

氏 名	所 属
増 永 英 樹	県環境林務部森づくり推進課長
矢 島 欣 也	鹿児島森林管理署次長
大 隣 健 二	南九州市耕地林務課長
瀨 崎 浩 臣	湧水町農林課長
上 入 來 幸 一	鹿児島市緑化推進委員会委員
永 岩 和 幸	県林業研究グループ連絡協議会長
地 福 俊 幸	緑の少年団鹿児島県連盟本部長
大 川 畑 の り 恵	かごしま子ども・若者相談センター コーディネーター
塩 川 英 彬	県森林ボランティア連絡会代表
竹 内 信 二	鹿児島青年会議所理事長

(2) 事務局・スタッフ

職 名	氏 名	職 名	氏 名
常 務 理 事	竹ノ内 洋 行	総務企画係長	松 元 亜 希 子
事 務 局 長	北之口 泰 哉	主 事	久 保 泰 子
事 務 局 次 長	前 原 雅 文		



緑化運動のシンボル

緑の羽根

「緑の羽根」は、昭和25年に「緑の羽根募金」を核とした国土緑化推進運動が展開されるようになって以来、そのシンボルとして親しまれてきました。

これからも、「緑の募金」運動のシンボルとして皆様に愛されることを願っています。

事務局

公益財団法人 かごしまみどりの基金

住 所 〒892-0816 鹿児島市山下町9-15
 電 話 099(225)1426・(225)1477
 F A X 099(225)1511
 E - m a i l bokin@k-green.jp
 ホームページ <http://www.k-green.jp>



豊かな緑支える 緑の募金



- 豊かな森林をつくるために
- 地球温暖化防止のために
- 地域や学校のみどりづくりのために
- 緑の少年団や森林ボランティアの育成のために

緑の募金に御協力をお願いします!

公益財団法人かごしまみどりの基金に寄付された団体・個人には次のような税制上の優遇措置があります。

法人・団体が寄附した場合	通常の寄付金の損金算入限度額 (資本金等の額×0.375%+所得金額×6.25%)×1/2
個人が寄附した場合	寄付金控除(所得控除) (次のいずれか) 寄付金額(総所得の40%上限) - 2千円を控除 [寄付金額(総所得の25%上限) - 2千円]×40%を控除

(公財)かごしまみどりの基金・市町村みどり推進協議会・鹿児島県

〒892-0816 鹿児島市山下町9-15 (林業会館4F) TEL099-225-1426・1477 FAX099-225-1511 <http://www.k-green.jp> E-mail:bokin@k-green.jp